

# クローズアップ 教育 委員会

## 郷土に誇りをもち、愛着を 深める教育を目指して

今月の教育委員会 ▼▼▼

熊本県教育委員会

### はじめに

熊本県では、平成二十二年三月に熊本県教育振興基本計画「くまもと」『夢への架け橋』教育プラン』を策定し、「未来を拓く『くまもとの心』づくり」の基本理念のもと、県民一人一人が、豊かな人間性と創造性を育みながら、希望に満ちた人生を送り、「くまもとに生まれてよかった」と感じることができるよう教育の充実を図っている。

特に、「豊かな心」を育む教育については、本計画の中で「生きる力」を育む教育の柱として位置

付け、道徳教育の充実に取り組んできた。

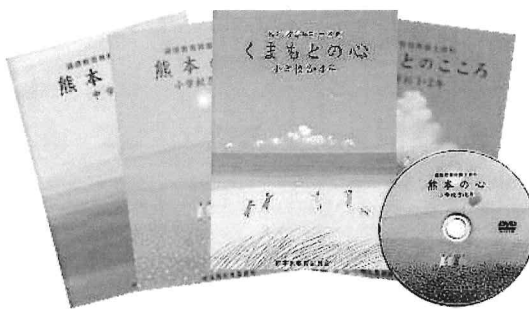
- ・ 主な取組は、次のとおりである。
- ・ 有識者や大学関係者、保護者代表等から構成した道徳教育推進協議会の設置
- ・ 教師用リーフレット「豊かな心をはぐくむ道徳教育の一層の充実のために」の作成
- ・ 道徳授業実践DVD「道徳の授業の一層の充実のために」の作成
- ・ 「生きる力」を育む研究指定校心の教育研究推進校の指定

また、郷土のすばらしさを伝え、人間の生き方や考え方を共感

をもって学び、郷土に対する愛着を深めることができるよう昭和六三年に作成、配付した道徳教育用郷土資料「熊本の心」(下資料参照)の活用を推進してきた。

### 道徳教育用郷土資料 「熊本の心」

「熊本の心」の配付から約二〇年が経過したことや平成一八年に改正された教育基本法において「公共の精神」や「生命や自然を尊重する態度」「伝統や文化を尊重し、我が国と郷土を愛するとともに国際社会の平和と発展に寄与する態度」などが新たに規定され



読み物資料

DVD

たことから平成二一・二二年度の二年間にわたり「熊本の心」の改

編作業に取り組んだ。

教材を作成するに当たっては、学校関係者によって組織した資料作成部会によって、これまでの教材を見直すとともに、内容項目を網羅することや、児童生徒にとって身近な教材となるよう題材について県内地域のバランスを考慮しながら、全体で三三編の新しい教材を開発した（左資料参照）。

児童生徒用の読み物資料は、郷土くまもとの先人の生き方に学ぶ教材、伝統や文化の継承から学ぶ教材等（小学校一・二年用、三・



「熊本の心」小学校5・6年用「人生の金メダル」より

四年用、五・六年用、中学校用）

から構成し、巻末には、県内全ての市町村の祭りや文化財等を紹介するページも設けた。そのほか教師用指導資料、データCD（すべての教材の学習指導案・ワークシート・資料等）及びプロのアナウンサーの朗読と映像を収録したDVDを作成し、授業の充実が図られるよう配慮した。また、視覚障がいがある児童生徒に対応した点字版の読み物資料を加え、昨年度、公立の小・中学校及び特別支援学校に配付した。

さらに、授業における活用だけでなく、家庭及び地域での活用を推進するため、公立の図書館及び公民館に配付するとともに、教材の内容等を紹介するリーフレットを作成し、公立の小・中学校及び特別支援学校の全家庭に配付した。

### 「熊本の心」の効果的な活用

本年度は、「熊本の心」の効果的な活用を推進するため研究推進校として小・中学校を指定すると

ともに、県内全ての道徳教育推進教師を集めた研修会を開催し、各教科等の特質に応じた道徳教育の推進と道徳教育推進教師の役割について演習・協議を行うとともに、「熊本の心」の優れた活用事例について実践発表を行った。

研究推進校である人吉市立人吉東小学校の取組を紹介する。

第四学年道徳の「ほくの町のたいこおどり 4―(5)」は、熊本県天草地方に三〇〇年間伝わる太鼓踊りの伝承の様子を通して、身近な地域に伝わる伝統文化を大切にしていこうとする心情を育てるものである。

人吉東小学校区にも七〇〇年間伝わる鬼木臼太鼓踊りがある。今回の取組では、保存会の方の思いを直接聞くことで、資料中の人々と同じような思いを抱いて伝統を守り伝えていく人々が身近にいることを知り、郷土の伝統と文化を大切にし、郷土を愛する心を育てることをねらった。

このように「熊本の心」に掲載

された資料そのものを活用するだけでなく、それぞれの地域の伝統・文化・地域の人たちの多様な生き方とを関連付け、さらに、児童生徒が感動を覚える教材の開発にもつなげている。

現在、県内の各学校で「熊本の心」を取り扱った道徳の時間の研究授業が行われ、実践が積み上げられている。さらに、道徳の時間以外でも、朝の一斉読書の時間に活用するなど様々な活用方法が工夫されている。

### おわりに

今後は、研究推進校の実践をまとも、実践事例集等を作成・配付し、効果的な活用方法について普及・啓発を図っていく予定である。広く家庭や地域と連携を図りながら、さらなる道徳教育の推進に努め、郷土くまもとに誇りを持ち、夢をもって生きていくことのできる子どもたちの育成に努めてまいりたい。

（文責・梅本和高）